

人口の将来展望

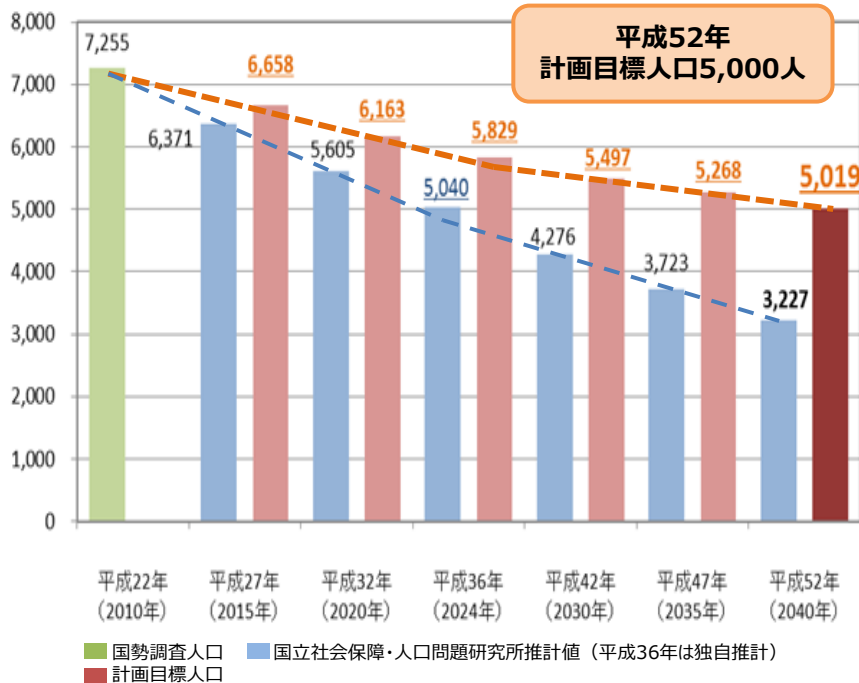
将来のまちづくりの方向に沿って「総合戦略」を策定し、戦略に掲げる施策の推進により、
平成52（2040）年 目標人口 5,000人を目指します。

- 第二次長期総合計画における計画目標人口（平成36（2024）年：5,800人）が達成され、その後も平成52年（2040）年まで、平成22（2010）年の国勢調査人口の1.0%に相当する75人（1年あたり）の人口回復が継続して達成されることを目指します。
- 平成52（2040）年の目標人口5,000人を達成する場合の人口動態の目安と人口構成を次のとおり推計しています。

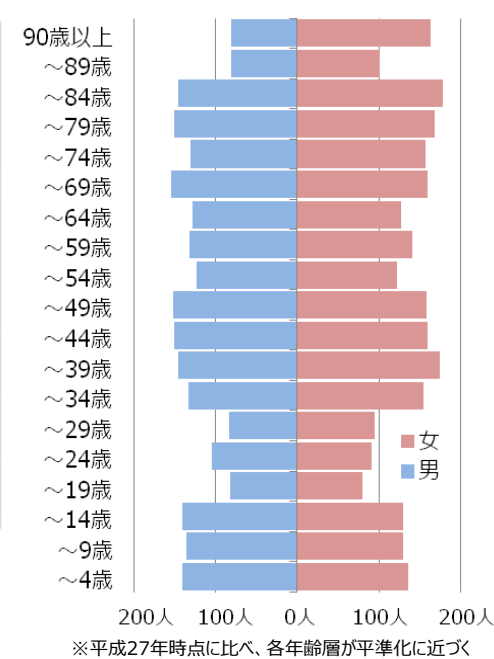
■人口動態の目安

区分	社会動態(人)			自然動態(人)			人口動態の特徴
	転入	転出	社会増減	出生	死亡	自然増減	
H27(2015)～ H32(2020)	200～ 210	200～ 210	0～10	20～30	120～ 140	△100～ △120	社会増減がほぼ均衡し、 自然減が100～120人で推移。
H33(2021)～ H42(2030)	200～ 210	180～ 200	10～20	20～30	100～ 120	△70～ △100	社会増減がやや増加し、 自然減が70～100人で推移。 人口の減少カーブが鈍化する。
H43(2031)～ H52(2040)	190～ 200	160～ 180	20～30	20～30	100～ 110	△70～ △80	社会増が20～30人、 自然減が70～80人で推移。 人口の減少カーブが穏やかになる。

■安芸太田町人口の見通し及び目標人口



■人口ピラミッド(H52目標人口達成時)



◆安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、詳しくはこちらまで！
⇒ http://www.akiota.jp/chiki/formulating_strategy.html

発行：安芸太田町役場 地域づくり課
〒731-3810 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784番地1
TEL 0826-28-2112 FAX 0826-28-1622
E-MAIL chiki@akiota.jp

安芸太田町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略【概要版】

【まち・ひと・しごと創生とは】

我が国の人口は、平成20（2008）年から減少傾向に転じ、今後も加速度的に減少することが見込まれています。本町においても、全国的な動向以上に、人口減少、少子高齢化が進行しており、地域の経済活力やコミュニティの維持が大きな課題となることから、人口の現状分析と将来展望を示した「人口ビジョン」と、それを実現するための具体的な戦略を定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取組みを進めていきます。

安芸太田町 人口ビジョン

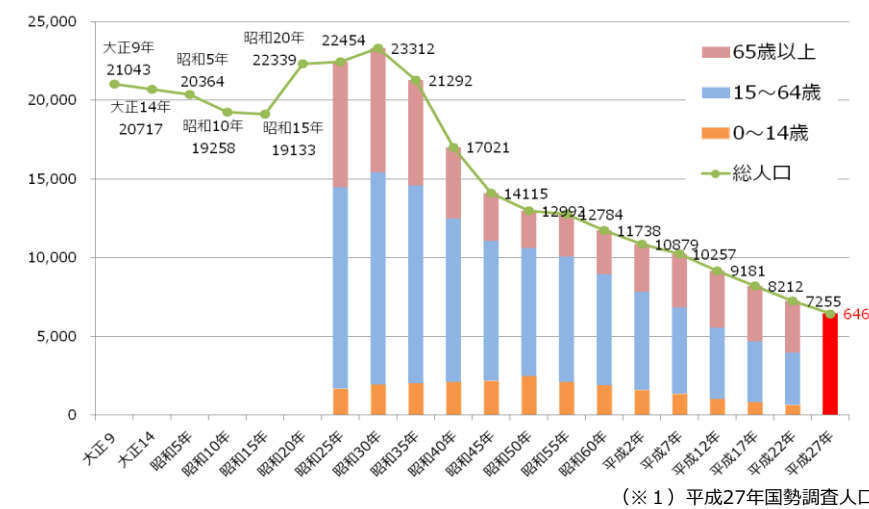
「人口ビジョン」では、本町の人口分析を踏まえ、今後目指すべき将来のまちづくりの方向と人口の将来展望を示します。

人口の現状

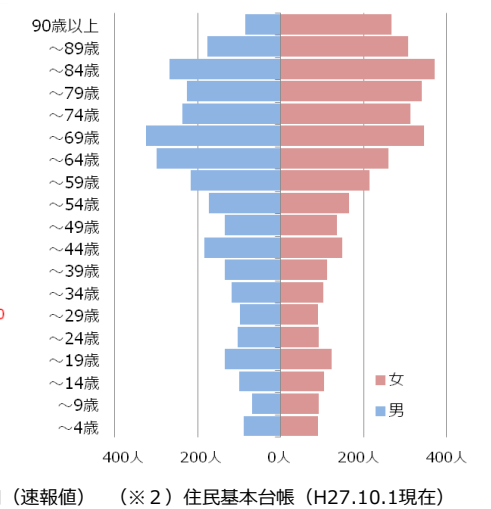
【総人口の推移・人口構成】(国勢調査及び住民基本台帳から)

- 町人口は昭和30（1955）年をピークに減少しています。
- 平成27（2015）年における人口は6,460人（※1）、高齢化率は47.6%（※2）となっています。

■人口の推移(国勢調査)



■人口ピラミッド(H27.10.1住民基本台帳)



【将来人口の推計】(国立社会保障・人口問題研究所)

- 社人研の推計では、平成52（2040）年に3,227人まで減少と予測されています。
- 少子高齢化と生産年齢人口（15～64歳）の減少が同時に進行します。

将来のまちづくりの方向

出生率の向上を図り、子育て世代の人口減少に歯止めをかけ、望ましい世代構成を実現するため、その戦略の骨格を以下のとおり定めます。

- (1) 移住・定住の推進
- (2) 産業の振興及び雇用の充実
- (3) 子ども子育て環境の充実
- (4) 地域の生活基盤の整備

まちづくりの方向をふまえ
総合戦略を策定

安芸太田町まち・ひと・しごと創生 総合戦略

「総合戦略」では、本町が直面する人口減少・少子高齢化問題に対応するための具体的な戦略を定め、持続可能な地域社会の確保を目指します。

基本的な考え方

【趣旨】 今後、当町の地域社会を持続させていくため、その実施計画となる「安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

【安芸太田町第二次長期総合計画 及び

国の示す政策4分野（基本目標）との関係】

平成27年度を始期とする第二次長期総合計画は、本町をとりまく社会構造や地域の実情を踏まえ、限られた行政の経営資源と地域の資源を有効に活用し、最大の成果を上げることを目指す戦略計画です。

第二次長期総合計画の基本的な考え方は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方等と合致し、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方を取り入れた内容となっています。

したがって、第二次長期総合計画に掲げる施策を、国の示す次の政策4分野（基本目標）にスライドさせ、「安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定します。

1 地方における安定した雇用を創出する

2 地方への新しいひとの流れをつくる

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

重点施策

第二次長期総合計画では、町内の経済活力と雇用環境の改善、暮らしやすさの向上、コミュニティの再構築等に関する取組みを重点的に進めるため、「リーディング施策（まちづくり戦略）」を設定しています。「安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点項目は、第二次長期総合計画のリーディング施策の具体的な推進方策とします。

- 都市部との‘商い’の活性化と町内産業間連携の推進
- 定住促進と人材確保・育成によるまちづくり基盤強化
- 各世代にとっての暮らしやすさの向上
- コミュニティの活力向上

第二次長期総合計画 (平成27年度～平成36年度)

【目指す将来像】

豊かさあふれ
つながりひろがる
安芸太田

～ほどほど便利 とびきり幸せ
笑顔かがやく 里山のまち～

リーディング施策 (まちづくり戦略)

産業の活性化

定住促進と人材確保・育成

暮らしやすさの向上

コミュニティの活力向上

【分野別まちづくりの基本方向】

- ◆定住・人口対策
～自然環境と人間環境の調和のとれたまち～
- ◆子育て・教育・次世代育成
～出産から成人までの
ライフステージをつなげるまち～
- ◆健康・医療・福祉
～体と心がちょうどいい幸せを感じるまち～
- ◆社会基盤・防災・防犯
～みんなで支えあう安心なまち～
- ◆生活利便性・環境
～ゆるやかにつながっているやさしいまち～
- ◆産業・雇用
～やりたいことをカタチにして
つなぎあうまち～
- ◆コミュニティ
～あなたの力が必要です。
Hotな心が通いあうまち～

まち・ひと・しごと創生総合戦略 分野別戦略

基本目標 ① 都市部との‘商い’の活性化と町内産業間連携の推進

【講ずべき施策の基本的方向】

- 都市部等との‘商い’の活発化
- 都市部等との‘商い’の活発化と町内の産業間連携を進める主体の設立

【具体的な施策】

- ア) 町産業の総合的な支援の仕組みづくり（産業活動支援センター設置）
- イ) 水産業の振興
- ウ) 農商工連携の推進
- エ) 農業の振興
- オ) 森林資源の活用と効率的な木材生産推進
- カ) 特色ある商工業の育成
- キ) 交流人口の拡大による経済波及効果の向上

基本目標 ② 定住促進と人材確保・育成によるまちづくり基盤強化

【講ずべき施策の基本的方向】

- 暮らし・定住支援機能の構築

【具体的な施策】

- ア) 安芸太田町への定住促進（暮らし・定住支援センター設置）
- イ) 町外への情報発信・連携の推進

基本目標 ③ 各世代にとっての暮らしやすさの向上

【講ずべき施策の基本的方向】

- 出産・子育て支援
- 子育て・次世代育成
- 拠点活動型高齢者活動支援
- 在宅型高齢者活動支援

【具体的な施策】

- ア) 妊娠期から子育てしやすい環境の整備
- イ) 学校教育の充実
- ウ) 地域包括ケア計画の推進（「生涯活躍のまち」構想の推進）
- エ) 快適で利用しやすい公共交通の確保

基本目標 ④ コミュニティの活力向上

【講ずべき施策の基本的方向】

- コミュニティの伝統の継承と組織体制の見直し
- 地域マスタープランの周知・推進
- 自立をめざすコミュニティ振興
- 地域主体の自主防災活動の推進
- 連携中枢都市圏の有効活用

【具体的な施策】

- ア) 住民主体のまちづくりの推進
- イ) 地域の消防・防災体制の充実
- ウ) 連携中枢都市圏ビジョンの推進

